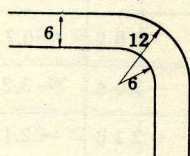


2.4 ヤハタスタンフレームZの断面諸係数の計算

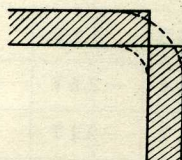
計算の方針

A 曲げを受ける梁・柱において高張力ボルトを使用するため穴断面積は控除しない。

B コーナー部は、プレス成形により伸長することまた計算の便宜上、次のような断面とした。



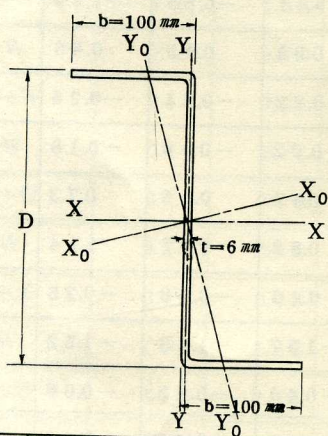
実断面



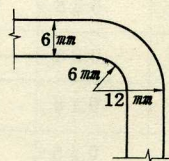
計算断面

C ヤハタスタンフレームzは、厚さ6mmの鋼板を使用しているため、また実験の結果から通常の設計荷重において局部座屈等の現象が見られないので「薄板鋼構造計算規準」の有効幅・有効断面積・有効断面係数は特に算定しない。

z形断面形状



コーナー部



断面形状 記号	z-250×6	z-300×6	z-350×6	z-400×6	z-450×6	z-500×6	z-550×6
D (mm)	250	300	350	400	450	500	550
t (mm)	6						
b (mm)	100						
A (cm ²)	25.56	28.56	31.56	34.56	37.56	40.56	43.56
I _{y0} (cm ⁴)	142	159	172	184	194	203	211
i _{y0} (cm)	2.36	2.36	2.34	2.31	2.27	2.24	2.20
z _x (cm ³)	188	242	301	365	434	508	587

2.5 断面の決定

軒高 h(m)	
張間 l(m)	
地域	
位置	BA
荷重状態	D+S
M (t・m)	-213
N (t)	-144
Q (t)	-061
A (cm ²)	
Z _x (cm ³)	
i _{y0} (cm)	
l _{ky} (m)	
λ	
ω	
$\frac{M}{Z_x}$ (t/cm ²)	
$\frac{\omega N}{A}$ (t/cm ²)	
σ (t/cm ²)	
σ _{cr} (t/cm ²)	
$\tau = \frac{Q}{0.85 \times 0.61 D}$ (t/cm ²)	
断面形状	[Z